

MITSUBISHI

三菱換気空清機 **エアロスナイ** (J-FAN)

壁掛1パイプ取付ロスナイ

形名
〈排湿タイプ〉
VL-08JPSA (湿度センサ付自動常時運転タイプ)

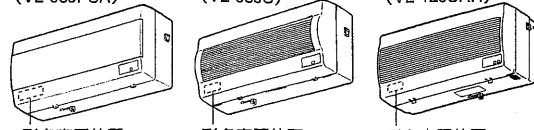
〈ロスナイ換気タイプ〉
VL-08JS (常時運転タイプ)

〈急速排気付タイプ〉
VL-12JSRH (ワイヤレスリモコンタイプ)

取付工事説明書 販売店・工事店さま用

形名によって取付工事が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

〈排湿タイプ〉 (VL-08JPSA) 〈ロスナイ換気タイプ〉 (VL-08JS) 〈急速排気付タイプ〉 (VL-12JSRH)



この製品は、使用する地域の温度の違いにより仕様を分けています。地域区分はカタログに記載されています。地域にあった製品かどうか確認してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事説明書を必ずお読みください。
- 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- お客さまご自身の工事は、故障や事故の原因になります。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。
	浴室など湿気の多い所には取付けない 感電・漏電の原因。
	壁取付専用のため、天井には取付けない 落下によりけがの原因。
	交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると感電の原因。 外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない。積雪で埋もれたりしない位置を選び新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にを行う 落下によりけがの原因。 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

	高温になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない 火災の原因。
	端子カバーは工事後必ず取付ける ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。
	取付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
	給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付け、断熱処理を確実にを行う 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。
	ドレン排出は、取付工事説明書に従って確実にを行う 水漏れによる感電・火災や家財の破損の原因。
	専用システム部材の室外フードを取付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。
	取付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤ブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。



指示に従う

1. タイプ別の違い

タイプ別に違いがありますので、あらかじめ形名を確認してください。
※本文中では、表中のマークを使って説明しています。

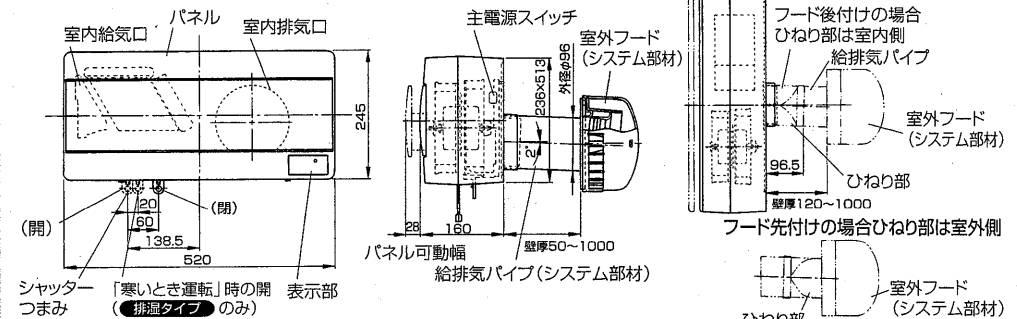
	形名	ドレンパン付	リモコン付
排湿タイプ	VL-08JPSA		—
ロスナイ換気タイプ	寒冷地仕様		—
	準寒冷地仕様	—	

※別売の電源コード (P-01 DC、P-250 DC) で電源コード付に変更が可能です。

2. 外形寸法図

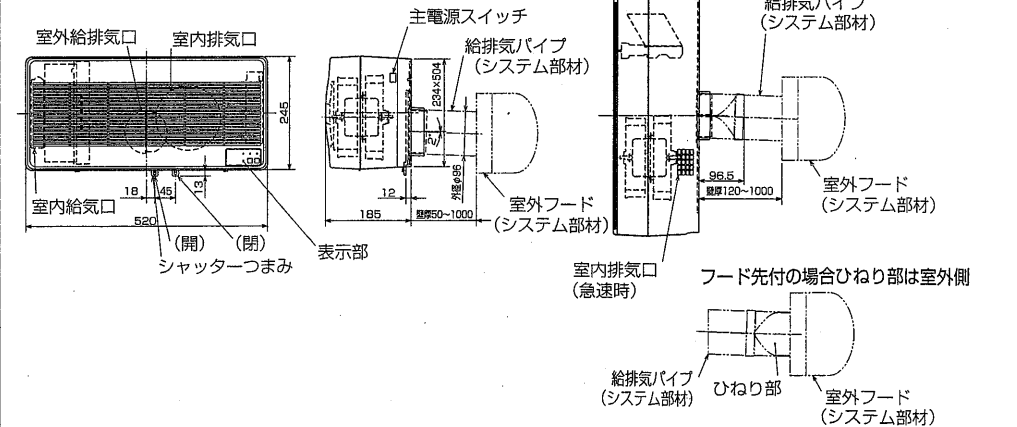
※説明のために全機種機能を表示しています。

VL-08JPSA, VL-08JSの場合



※図はVL-08JPSAを示す。(08JSはパネル違い)

VL-12JSRHの場合



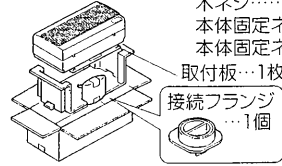
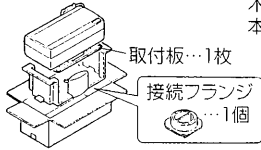
3. 同梱部品を確認してください

VL-08JP5A,VL-08JSの場合

- たて用表示板……1個
- バックシール……1個
- アルミテープ(小)……1枚
- 木ネジ………6本
- 本体固定ネジ……5本

VL-12JSRHの場合

- たて用表示板……1個
- バックシール……1個
- 木ネジ………6本
- 本体固定ネジ(長)……4本
- 本体固定ネジ(短)……1本



- VL-12JSRHのみ**
- リモコン……1個
 - 乾電池(単4)……2本
 - リモコンホルダー……1個
 - 取付ネジ……1本

システム部材(別売)が必要です ※カタログ参照の上、専用のシステム部材をお選びください。

この製品は同一本体で「よこ取付け」・「たて取付け」/「フード先付け」・「フード後付け」ができます。取付にともない下記のシステム部材が必要です。壁厚により給排気パイプは異なります。

	よこ取付け		たて取付け	
	壁厚	壁厚	壁厚	壁厚
	300mm以下	1000mm以下	300mm以下	1000mm以下
フード後付け	給排気パイプ P-30P-S	給排気パイプ P-100P-S	給排気パイプ P-30P-T	給排気パイプ P-100P-T
フード先付け	給排気パイプ P-30P-S パイプ固定板 P-50AP	給排気パイプ P-100P-S パイプ固定板 P-50AP	給排気パイプ P-30P-T パイプ固定板 P-50AP	給排気パイプ P-100P-T パイプ固定板 P-50AP

※上記の他にフードが必要です。
※室外フードは、コウモリ等小動物の侵入のおそれがある所にはP-50CVP以外の専用フード(防虫網付など)をご使用ください。

4. 取付けの前に

1. 取付板をはずす

本体背面のテープをはがして取付板をはずす

- ドレンパン(ドレンパン付のみ)の先端を保護するため右図のように下じきを敷く。
- ダンボールなどを敷く。(本体の傷付き防止)

2. パネルをはずす

ツメを押さえながら上に引き上げ、右側をさらに開けてパネルをはずす。(落下防止のため、左側が一旦引っかかるようになっています。)

- パネルをはずした後、本体内部にネジなどが入らないように注意する。

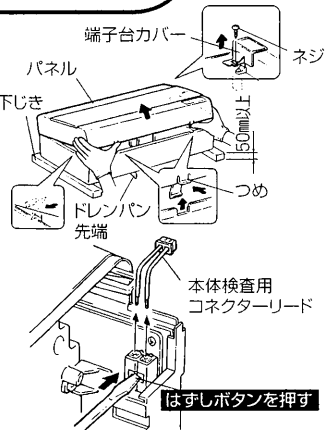
3. コネクターリードをはずす

① 端子台カバーをはずす

ネジ1本をはずして端子台カバーをはずす。

② 本体検査用のコネクターリードをはずす

コネクターリードを取りはずす(コネクターリードは不要)



5. 取付方法 裏面を見る

室外フードを本体よりも先に取付けるか(フード先付け)、後に取付けるか(フード後付け)によって取付方法が異なります。詳しくは裏面を見てください。

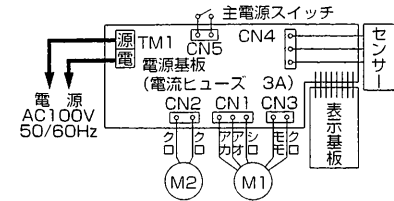
6. 結線図 100V専用・誤結線注意

■太線部分の結線をしてください。

※複数台運転はできません。

お願い

- 結線前にコネクターリードをはずしてください。「3.取付けの前」参照



- 適用電線：VVVF単線φ1.6(またはφ2)
- ※VL-08JS,VL-12JSRHにセンサーはありません。
- ※VL-08JP5A,VL-08JSにM2はありません。

7. 取付工事後の確認

■取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。

■不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

(チェック表)

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付け強度は十分ですか?	取付け直してください	
	本体が確実に取付けられていますか?	本体固定ネジを締め直します	
	パネルが確実に取付けられていますか?	パネルを取付け直します	
試運転	コーキングはしましたか? (接続フランジと給排気パイプの接続部、室外フード)	コーキングをします (コーキングをしないと雨水が浸入します)	
	たて取付けの場合、表示板をつけかえましたか?	たて用の表示板を取付けます	
	電圧は100Vですか?	100Vに直します (異電圧を印加すると破損します)	
	主電源スイッチは入っていますか?	主電源スイッチを入れます	
	羽根当り音がかかっていますか?	パネルをはずしてゴミなどを取り除く (見える範囲のみ)	

8. 試運転

■できるかぎりお客さま立合いで、試運転を行ってください。

1. 電源を入れる

1. 分電盤ブレーカーを入れる。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。(電源プラグ付のみ)
3. 主電源スイッチを入れる。

2. 運転状態の確認を行う

1. 運転のしかたは、取扱説明書をご覧ください。

3. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する

1. 主電源スイッチを切にする。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。(電源プラグ付のみ)
3. 分電盤ブレーカーを切る。

お客さまへの説明

- 分電盤ブレーカーとコンセントの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- 「リモコン」、「リモコンホルダー」、「乾電池」をお客さまへお渡しください。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
- お客さまが不在の場合は、発注者(オーナーなど)または、管理人へ説明してください。

壁穴工事

本体が変形しないように、取付位置が平らであることを確認してください。(異常音などの発生原因となります。)

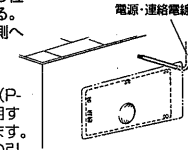
電源・連絡電線の引き出し

電源・連絡電線を引き出す

- (1) 電源・連絡電線取り出し位置を確認し、穴をあける。
- (2) 電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

メモ

システム部材の変換コード (P-01DC、P-250DC) を使用すると電源プラグ対応になります。このときは電源・連絡電線の引き出しは不要となります。



電源コード取り出し範囲
(電源プラグ対応は不要)

フード後付けの場合

取付位置・壁穴位置を決める

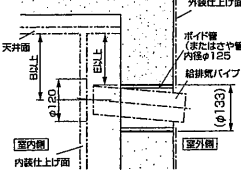
- (1) 必要空間距離 (左図) を確認し、補強材 (壁内) が取付板を固定できる位置にあるか確認する。
- (2) 壁穴位置の中心に印をつける。
- (3) φ120の壁穴をあける。

フード先付けの場合

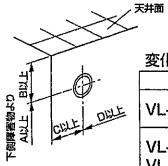
取付位置・壁穴位置を決める

- (1) 必要空間距離 (左図) と (取付位置図) (右図) を確認し、壁穴位置を決める。
- (2) 内径φ125のボイド管 (またはさや管) を入れ、コンクリート壁を作る。
- (3) ボイド管 (またはさや管) を引き抜く。
- (4) 外装壁面を仕上げる。

(取付位置図)



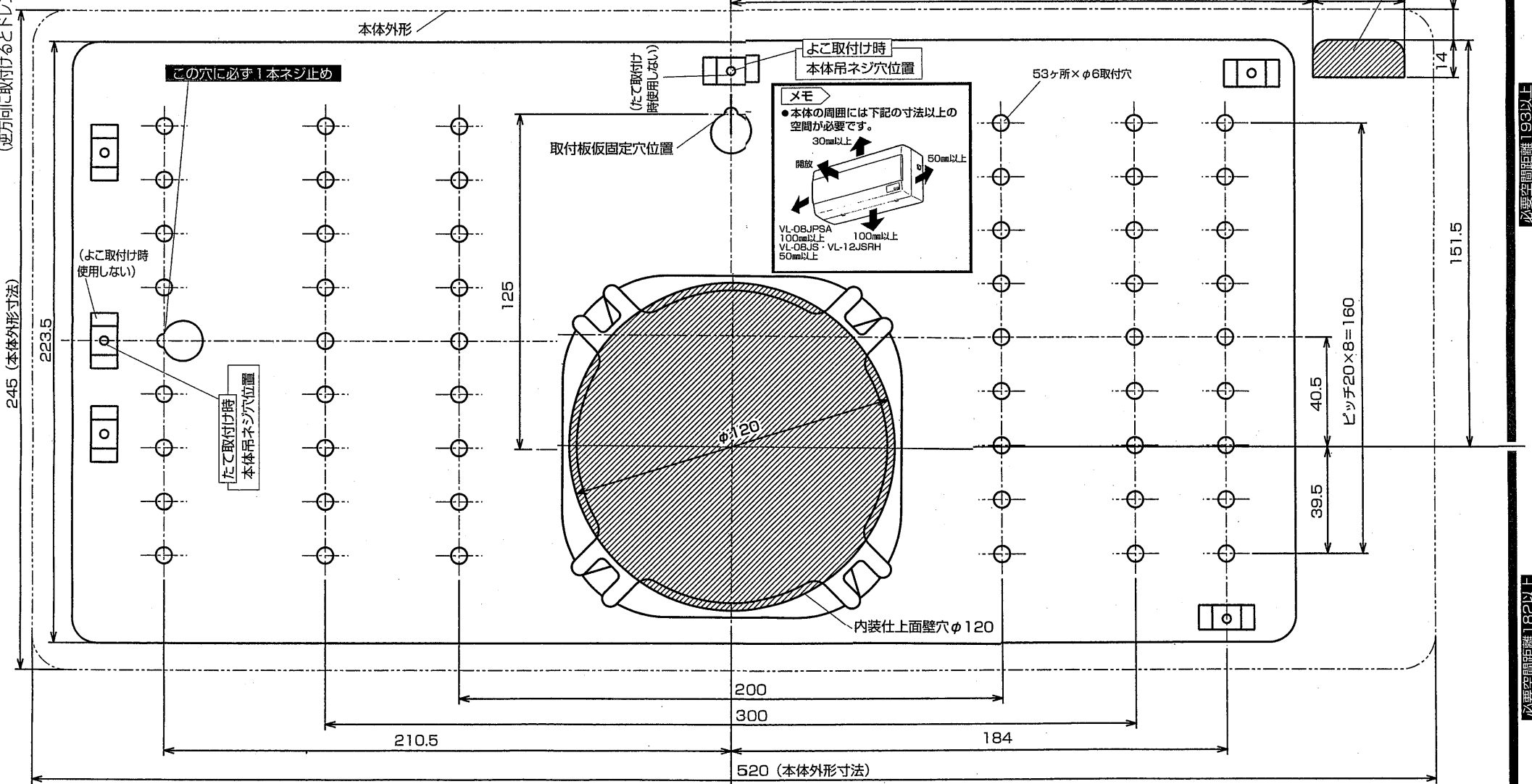
必要空間距離



変化寸法

		単位 (mm)				
		A	B	C	D	E
VL-08JPJA	よこ取付け	182	193	360	310	163
	たて取付け	310	360	182	193	330
VL-08JS	よこ取付け	182	193	310	310	163
VL-12JSRH	たて取付け	310	310	182	193	280

たて (袖壁) 取付けの場合 (↑矢印の方向を上にしてください。) ※この方向で取付けてください。
(逆方向に取付けるとドレンが逆流し、内部を汚します。)



必要空間距離360以上 (VL-08JPJA)
310以上 (VL-08JS, VL-12JSRH)

必要空間距離310以上

必要空間距離193以上

必要空間距離182以上

取付方法 つつき

フード後付けの場合

本体を壁に取付けた後で、フードを取付ける施工方法です。
※説明に使用しているイラストはVL-08JP5Aの場合

1. 壁穴工事 裏面を見る

- ◆壁穴工事
- ◆電源・連絡電線の引き出し

2. 取付け前の準備

1. 接続フランジにパッキンを入れる

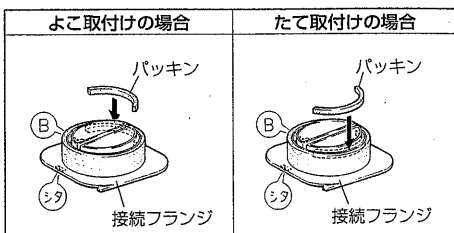
- 接続フランジのパイプ接続側の溝にパッキン（同梱）を入れる。

お願い

- 本体の取付方向でパッキンの位置がちがいます。

③②情報

- このパッキンはパイプに傾斜をつけるために入れます。

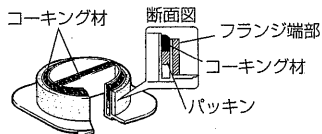


2. コーキング材の塗布

- 接続フランジにコーキング材を塗布する。

お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。



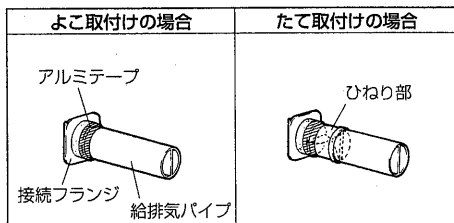
3. 接続フランジを給排気パイプに取付ける

- (1) 給排気パイプを接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。
- (2) 接続フランジと給排気パイプをパイプに同梱のアルミテープ（大）を巻き付けて固定する。

- 確実に固定しないと、ドレン水（ドレンパン付）が漏れる恐れがあります。

お願い

- たて取付けの場合必ず「ひねり部」が室内側へくるように差し込んでください。

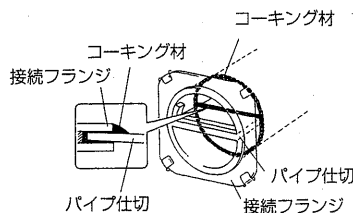


4. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

- 接続フランジと給排気パイプの接続部を内側からコーキングする。

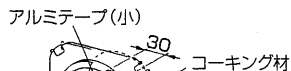
お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。
- コーキングが接続フランジよりも厚く塗らないでください。（ドレン水（ドレンパン付）が排出されません）



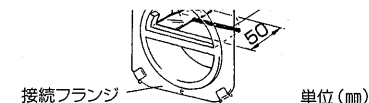
5. アルミテープの貼り付け（たて取付けの場合（ドレンパン付））

- 付属のアルミテープ（小）を図のように左端に貼る。



③②情報

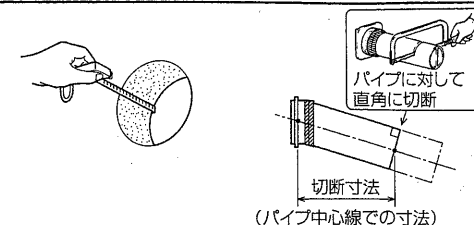
- ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。



6. 給排気パイプを切断する

- (1) 壁厚を測る。
- (2) 下表の寸法で給排気パイプを切断する。（室外フードによって切断寸法が異なります）

室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm

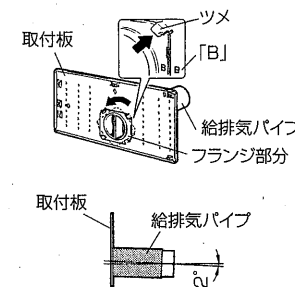


7. 給排気パイプを取付板に固定する

- (1) 給排気パイプを取付板に差し込む。
- (2) 左回りに回転させる。
- (3) フランジを固定する。（ツメ4か所にひっかける）

お願い

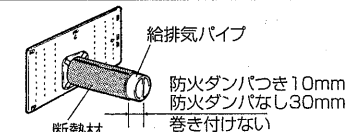
- フランジがツメ4か所ともかかっていることを確認してください。
- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。
- (4) 給排気パイプが室外側に傾斜しているか確認する。（傾斜していないと、ドレン水（ドレンパン付）の逆流や雨水が浸入します。）



8. 給排気パイプに断熱材を巻き付ける

お願い

- 断熱材は室外へ出る部分には巻き付けしないでください。フードが取付けられません。



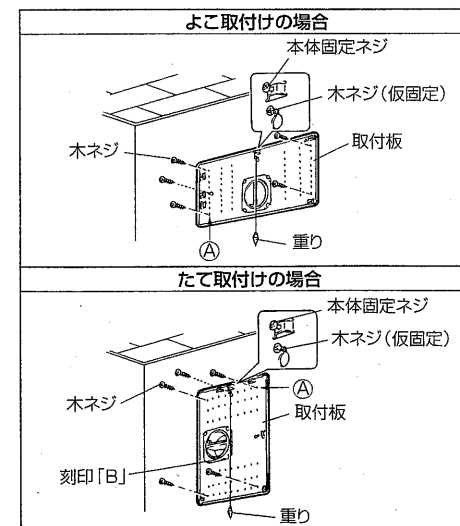
3. 取付板の取付け

取付板を固定する

- (1) 給排気パイプを壁穴に通す。
- (2) 取付板を木ネジ1本で仮固定する。（最後に締めつけてください。）
- (3) 本体固定ネジ1本を本体吊用として取付板に取付ける。（VL-12JSRHの場合、本体固定ネジ（短）1本を使用）
- (4) 重りを吊り下げて、取付板の水平を確認する。
- (5) 補強材のある位置に木ネジ4本で取付板を固定する。
- (6) ④列中央を木ネジ1本で固定する。

お願い

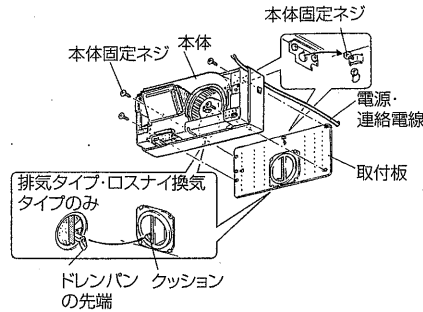
- できるだけ4すみの均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）
- たて取付けの場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。
- 電源・連絡電線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。（取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出穴が本体からはみ出してしまいます）



4. 本体の取付け

本体の固定

- (1) 電源・連絡電線を引込口から本体内部に引き込む。
(電源プラグ付を除く)
- (2) 取付板の本体固定ネジに本体を引っ掛ける。
- ドレンパンの先端を給排気パイプのクッションに乗せてください。〈ドレンパン付〉
- (3) 本体固定ネジ4本で本体を固定する。
(本体を壁側に押つける)
(VL-12JSRHの場合、本体固定ネジ(長)4本を使用)



お願い

- 本体を吊るす本体固定ネジは仮固定ですので必ず本体を手で支えてネジ固定してください。

5. 電気工事

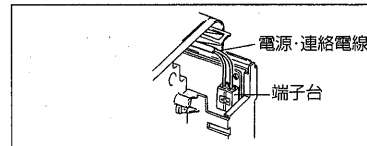
警告

- 交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
(接続に不備があると火災の恐れがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・確実に行う
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

1. 結線をする

●電源連絡電線の場合

- (1) 結線図(裏面)のとおりで結線をする。
- (2) 端子台から電線が抜けないことを確認する。

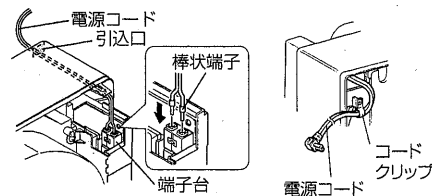


お願い

- 結線の前にコネクターリードをはずしてください。
(裏面「4.取付けの前に」参照)

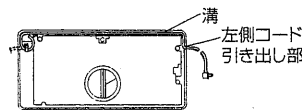
●電源プラグ付に変更する場合…システム部材の電源コード(別売P-01DC、P-250DC)を使用する

- (1) システム部材の電源コードを電源・連絡電線引込口から端子台に引き込み結線する。
- (2) 本体背面でコードに同梱のコードクリップで電源コードを固定する。
- (3) 電源コードを左側から出す場合は、右図のように本体上部の溝に通して電源コードを左側にまわし、左側コード引き出し部から出す。
- (4) コード処理後、元通り本体を取付ける。
(「4. 本体の取付け」参照)



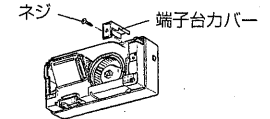
お願い

- 電源コードは、引っばっても動かないよう確実に固定してください。
- 棒状端子は確実に端子台の奥まで差し込んでください。



2. 端子台カバーを取付ける

※必ず端子台カバーを取付けてください。

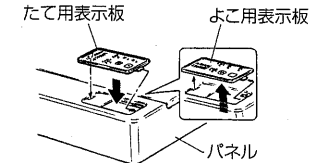


6. パネルの取付け

よこ取付けの場合

1. パネルを取付ける

- (1) 上側を引掛け、下側を押えてはめ込む。



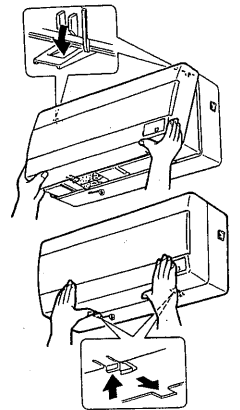
たて取付けの場合

1. 表示板をかえる

- (1) よこ用表示板を内側から押しははずす。
- (2) 付属のたて用表示板を取付ける。

2. パネルを取付ける

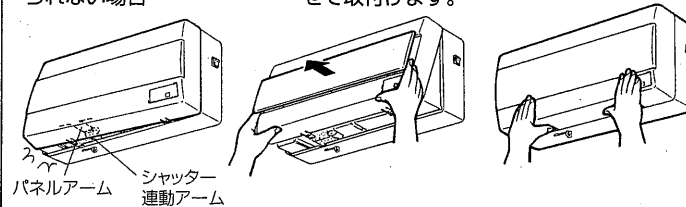
- (1) 右側を引掛け、左側を押えてはめ込む。



メモ 排湿タイプのみ

パネルのアームとシャッター連動アームが当たり、パネルが取付けられない場合

1. 可動パネルを少し持ち上げ、パネルのアームを移動させて取付けます。
2. パネルを閉じます。



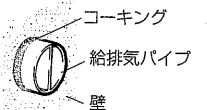
7. 室外工事

1. 壁穴をふさぐ

- 給排気パイプと壁穴とのすきまを市販のコーキング剤でふさぐ。

お願い

- すきまをふさがないと雨水が浸入します。



2. 室外フードの取付け

- 室外フードの取付工事説明書に従い室外フードを取付ける。

裏面の「7.取付工事後の確認」および「8.試運転」を行ってください。

フード先付けの場合

マンションで外装工事を先に仕上げる場合に、フードを先付けておくことができます。以下では、マンションへの取付けを想定して説明しています。

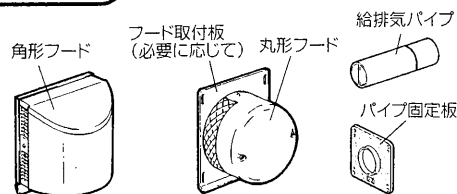
1. 壁穴工事 裏面を見る

2. 取付け前の準備

1. システム部材の用意

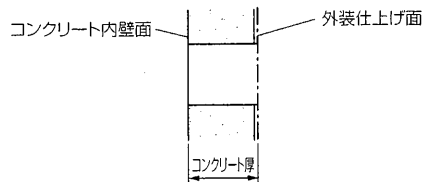
●取付けには室外フード、給排気パイプ、パイプ固定板が必要です。機種に適合するシステム部材を用意してください。

●角穴に丸形フードを使用する場合は、システム部材のフード取付け板 P-700T の使用をおすすめします。



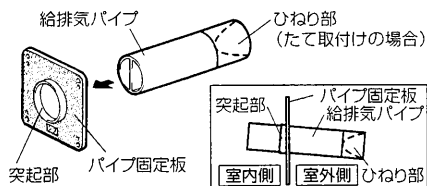
2. コンクリート厚を測定する

●図を参照してコンクリート厚を測る。



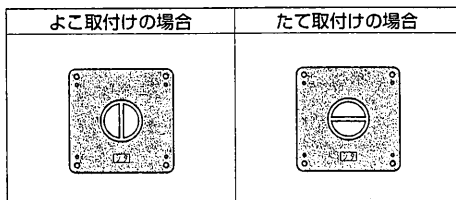
3. 給排気パイプの挿入

- パイプ固定板に給排気パイプを挿入する。
- パイプ固定板には方向性があります。突起部が室内側になります。
- 本体をたて取付けする場合は、給排気パイプのひねり部分を室外側にする。

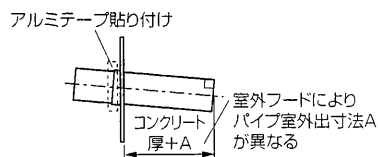


4. パイプ固定板の位置決めと給排気パイプの仕切方向

- (1) 右図のようにパイプ固定板の仕切方向を決める。
- (2) コンクリート厚+パイプ室外寸法 A を決める。
- (3) 給排気パイプに同梱のアルミテープ (大) で固定する。

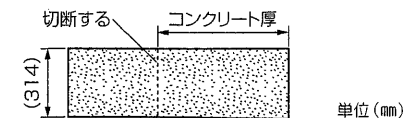


室外フード	パイプ室外寸法 A	
	フード取付け板なし	フード取付け板 (P-700T) 使用時
防火ダンパー付	10mm	15mm
防火ダンパーなし	30mm	35mm



5. 断熱材の切断

●断熱材をコンクリート厚寸法で切断する。

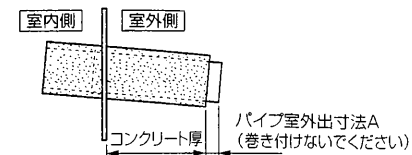


6. 断熱材の貼り付け

- 切断した断熱材を給排気パイプに貼り付ける。
- パイプ室外寸法 A については、上記手順 4 の表を参照ください。

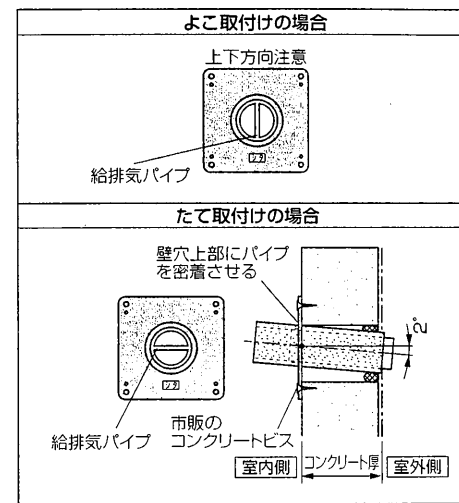
お願い

●断熱材はパイプ室外寸法 A には巻きつけないでください。フードが取付けられません。



3. 給排気パイプの取付け

- (1) パイプ固定板の上下方向を確認し、給排気パイプを室内側から壁穴に通す。(上下方向注意)
- (2) 室内側の給排気パイプを壁穴の上部に密着させる。
- (3) コンクリートビスの固定位置に印をする。
- (4) 給排気パイプを一旦取り出す。
- (5) コンクリートビスの予備穴を開ける。
- (6) 給排気パイプを挿入しネジ止める。(市販のコンクリートビス4本)



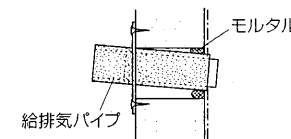
4. 室外工事

1. 壁穴をふさぐ

●給排気パイプと壁穴とのすきまをモルタルなどでふさぐ。

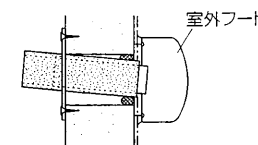
お願い

●給排気パイプには傾斜が必要です。ふさぐ際に上下に無理な力を加えずに仕上げてください。●すきまをふさがないと雨水が浸入します。



2. 室外フードの取付け

●室外フードの取付工事説明書に従い室外フードを固定する。



この時点で室外側の工事は完了です

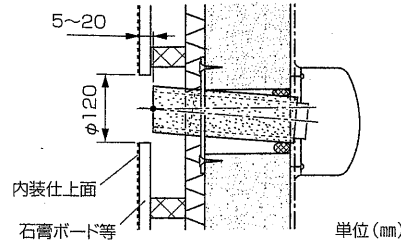
5. 内装工事

1. 給排気パイプの切断と内装仕上

- (1) 内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法が5~20mm以内の範囲になるよう給排気パイプを切断する。

お願い

- 内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法(5~20mm)を守ってください。
- (2) 内装仕上面の給排気パイプ位置にφ120の穴を開ける。



2. 電源・連絡電線を引き出す

↳ 裏面をご覧ください。

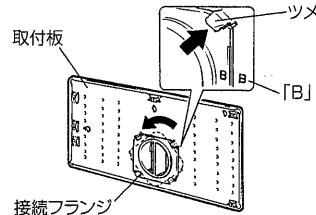
6. 取付板の取付け

1. 接続フランジの取付け

- (1) 取付板に接続フランジを差し込む。
 (2) 左回りに回転させる。
 (3) 接続フランジを固定する。(ツメ4か所にひっかける)

お願い

- フランジがツメ4か所ともかかっていることを確認してください。
- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。
- 同梱のパッキンは使用しません。

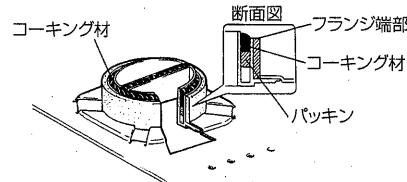


2. コーキング材の塗布

- 接続フランジにコーキング材を塗布する。

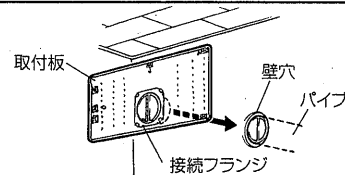
お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。



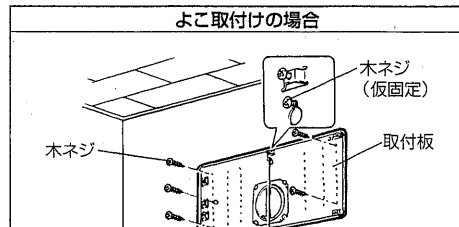
3. 接続フランジと給排気パイプの接続

- 接続フランジを壁内の給排気パイプに挿入する。



4. 取付板の固定

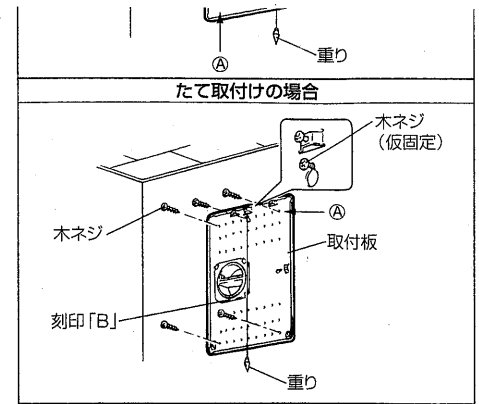
- (1) 取付板を木ネジ1本で仮固定する。(最後に締めつけてください。)
- (2) 本体固定ネジ1本を本体吊用として取付板に取付ける。(VL-12JSRHの場合、本体固定ネジ(短)1本を使用)
- (3) 重りを吊り下げて、取付板の水平を確認する。
- (4) 補強材のある位置に木ネジ4本で取付板を固



- (5) ①列中央を木ネジ1本で固定する。

お願い

- できるだけ4すみの均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)
- たて取付の場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。
- 電源・連絡電線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。(取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出穴が本体からはみ出してしまいます)

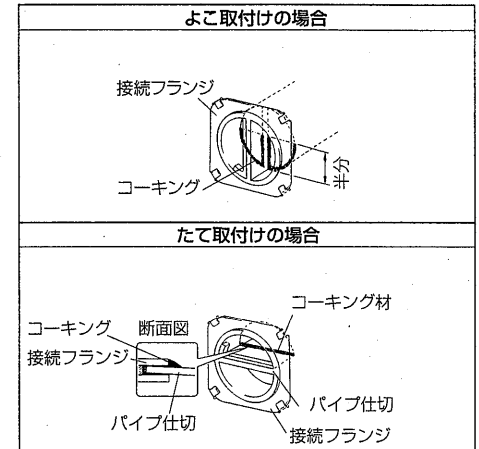


5. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

- 接続部の下から半分を内側からコーキングする。

お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。(コーキングが高すぎるとドレン水が排出されません) <ドレンパン付>

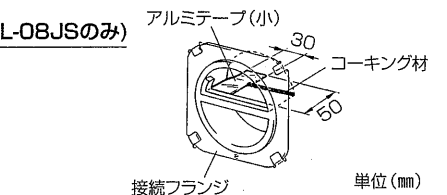


6. アルミテープの貼り付け(VL-08JPSA・VL-08JSのみ)

- 付属のアルミテープ(小)を図のように左端に貼る。

Ⓜ(二)情報

- ドレンパン先端から出た水を流れやすくするため貼ります。



以下の工事はフード後付けの場合と同様に行ってください。

7. 本体の取付け

8. 電気工事

9. パネルの取付け

裏面の「7.取付工事後の確認」および「8.試運転」を行ってください。